

# ドライバのインストールと設定

DR-880 をコンピューターに接続して使用するために、ドライバのインストールと設定を行います。

『接続とドライバのインストール (Windows)』..... (P.2)

『接続とドライバのインストール (Macintosh)』..... (P.13)

## USB MIDI ドライバとは

コンピューターと DR-880 が USB ケーブルで接続されているときに、コンピューター上のアプリケーション・ソフトウェアと DR-880 との間で MIDI データのやりとりをするソフトウェアです。

USB MIDI ドライバは、アプリケーションからの MIDI 情報を DR-880 に送ったり、逆に DR-880 からの MIDI 情報をアプリケーションに渡したりします。

- ※ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- ※ 本書では Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- ※ Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® operating system です。
- ※ Apple、Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の米国及びその他の国における登録商標です。
- ※ MacOS は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- ※ OMS は、米国 Opcode Systems, Inc. の登録商標です。
- ※ FreeMIDI は、米国 Mark of the Unicorn 社の商標です。

# 接続とドライバのインストール (Windows)

## ドライバのインストール

お使いの環境によって、インストールおよび設定の手順が異なります。以下の中からご自分にあった項目へお進みください。

- Windows XP をお使いのとき ..... (P.2)
- Windows 2000 をお使いのとき ..... (P.6)
- Windows Me / 98 をお使いのとき ..... (P.9)

### ■ Windows XP をお使いのとき

1

DR-880 を接続していない状態で Windows を起動します。

USB キーボードと USB マウス以外のすべての USB ケーブルをはずした状態にしておいてください。

ウイルス・チェッカーなどのソフトウェアをお使いのときは、それらも必ず終了してください。

2

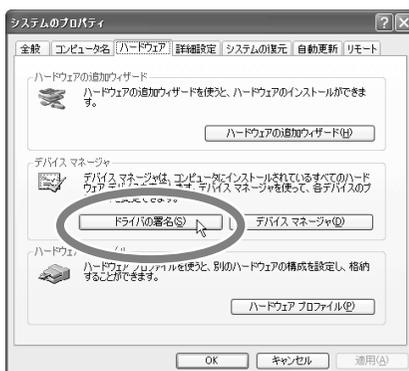
システムのプロパティ・ダイアログを開きます。

1. Windows のスタート・メニューからコントロールパネルを選びます。
2. 「作業する分野を選びます」からパフォーマンスとメンテナンスをクリックします。
3. 「コントロールパネルを選んで実行します」から、システム・アイコンをクリックします。

3

ハードウェア・タブをクリックし、続けて[ドライバの署名]をクリックします。

ドライバ署名オプション・ダイアログが開きます。



4

「どのように処理しますか？」が「無視」に設定されているかを確認します。「無視」に設定されているときは、そのまま [OK] をクリックしてください。「無視」に設定されていないときは、現在の設定（「警告」または「ブロック」）をメモした後、「無視」に変更して [OK] をクリックします。

注意!

Windows XP Professional をお使いのときは、アカウントの種類がコンピュータの管理者であるユーザー名 (Administrator など) で、Windows にログオンします。ユーザー・アカウントについて、詳しくはお使いのコンピュータのシステム管理者にご相談ください。

メモ

お使いの状態によっては、システム・アイコンが直接コントロールパネルに表示されていることがあります (クラシック表示)。そのときはシステム・アイコンをダブルクリックします。

メモ

「どのように処理しますか？」を変更したときは、ドライバをインストールした後で、変更前の設定に戻します。→ 『「どのように処理しますか？」を変更しているとき』 (P.5)

**5** [OK] をクリックして、システムのプロパティ・ダイアログを閉じます。

**6** 起動中のソフトウェア (アプリケーション) をすべて終了します。  
開いているウィンドウもすべて閉じてください。ウィルス・チェッカーなどのソフトウェアをお使いのときは、それらも必ず終了してください。

**7** CD-ROM を準備します。  
CD-ROM を、コンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

**8** Windows のスタート・メニューからファイル名を指定して実行を選んでください。  
ファイル名を指定して実行ダイアログが開きます。

**9** 表示されたダイアログの名前欄に次のように入力して [OK] をクリックします。



(ドライブ名) ¥DRIVER¥XP2K¥SETUPINF.EXE

※ ここでは、ドライブ名は「D:」として説明しています。ドライブ名「D:」は、お使いの環境によって異なる場合があります。CD-ROM ドライブのドライブ名にあわせてください。

**10** SetupInf ダイアログが開きます。  
ドライバをインストールする準備ができました。

**11** DR-880 とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

※ あらかじめ DR-880 の USB モードを “MIDI” に設定し、DR-880 の電源をオフしておきます。

1. 電源スイッチがオフの状態の DR-880 と AC アダプターを接続します。
2. AC アダプターを電源コンセントに差し込みます。
3. DR-880 とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

**メモ**

「このディスクまたはデバイスには、複数の種類のコンテンツが含まれていません。」と表示されたときは、[キャンセル] をクリックします。

**メモ**

ドライブ名の確認方法  
スタート・ボタンをクリックして、表示されるメニューからマイ コンピュータを選びます。表示されたウィンドウの中から手順7でCD-ROMを入れたCD-ROMドライブのドライブ名を確認します。  
CD-ROMドライブに表示されている (D:) や (E:) がドライブ名を表しています。

**メモ**

USB モードの設定方法については、「DR-880 取扱説明書」をご覧ください。

**注意!**

正しく接続したら、必ずこの手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。

## 12 DR-880の電源スイッチをオンにします。

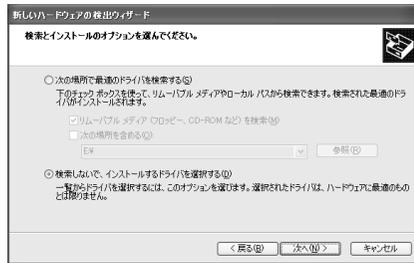
タスク・バーのあたりに「新しいハードウェアが見つかりました」と表示されます。そのまましばらくお待ちください。

## 13 新しいハードウェアの検出ウィザードが開きます。

「BOSS DR-880」と表示されていることを確認し、「一覧または特定の場所からインストールする (詳細)」を選んで、[次へ] をクリックします。

## 14 「検索とインストールのオプションを選んでください。」と表示されます。

「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択し、[次へ] をクリックします。



## 15 モデル欄に「BOSS DR-880」が表示されていることを確認して、[次へ] をクリックします。ドライバのインストールが始まります。

### メモ

DR-880は回路保護のため、電源をオンしてからしばらくは動作しません。

### メモ

新しいハードウェアの検出ウィザードでWindows Updateに接続するかどうかを尋ねられた場合は、「いいえ」を選択して[次へ]をクリックしてください。

「どのように処理しますか?」の設定が「無視」になっていないと、次のようなダイアログが開きます。

### 「どのように処理しますか?」が「警告」の場合

! マークのダイアログが表示されます。

1. [続行] をクリックします。
2. インストールを続けます。

### 「どのように処理しますか?」が「ブロック」の場合

× マークのダイアログが表示されます。

1. [OK] をクリックします。
2. 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が開いたら、[完了] をクリックします。
3. 手順 1 (P.2) に戻り、最初からドライバをインストールし直します。

## 16 ディスクの挿入ダイアログが開きます。

[OK] をクリックします。

### メモ

ディスクの挿入ダイアログが表示されない場合があります。その場合は、手順 17へ進んでください。

- 17** ファイルが必要ダイアログが開きます。  
コピー元欄に次のように入力して、[OK] をクリックします。

D:¥DRIVER¥XP2K

※ ドライブ名「D:」は、お使いの環境によって異なる場合があります。  
CD-ROM のドライブ名にあわせてください。

- 18** 新しいハードウェアの検出ウィザードが表示されます。

「BOSS DR-880」と表示されていることを確認し、[完了] をクリックします。  
タスク・バーのあたりに「新しいハードウェアが見つかりました」と表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。

- 19** ドライバのインストールが終了するとシステム設定の変更ダイアログが開きます。

[はい] をクリックしてください。Windows が自動的に再起動します。

### 「どのように処理しますか？」を変更しているとき

「どのように処理しますか？」を変更しているときは、Windows が再起動したら、変更前の設定に戻します。

1. ドライバのインストールを行ったときのユーザーで、Windows にログオンします。
  2. Windows のスタート・メニューからコントロールパネルを選びます。
  3. 「作業する分野を選びます」からパフォーマンスとメンテナンスをクリックします。
  4. 「コントロールパネルを選んで実行します」から、システム・アイコンをクリックします。システムのプロパティ・ダイアログが開きます。
- ※ お使いの状態によっては、システム・アイコンが直接コントロールパネルに表示されていることがあります (クラシック表示)。そのときはシステム・アイコンをダブルクリックします。
5. ハードウェア・タブをクリックし、続けて [ドライバの署名] をクリックします。ドライバ署名オプション・ダイアログが開きます。
  6. 「どのように処理しますか？」を変更前の設定 (「警告」または「ブロック」) に戻し、[OK] をクリックします。
  7. [OK] をクリックします。システムのプロパティ・ダイアログが閉じます。

続いて、ドライバの設定を行います。  
(→『ドライバの設定』(P.11))

## ■ Windows 2000 をお使いのとき

1

DR-880 を接続していない状態で、Windows を起動します。

USB キーボードと USB マウス以外のすべての USB ケーブルをはずした状態にしておいてください。

ウイルス・チェッカーなどのソフトウェアをお使いのときは、それらも必ず終了してください。

2

管理者権限を持つユーザー (Administrator など) で Windows にログオンします。

3

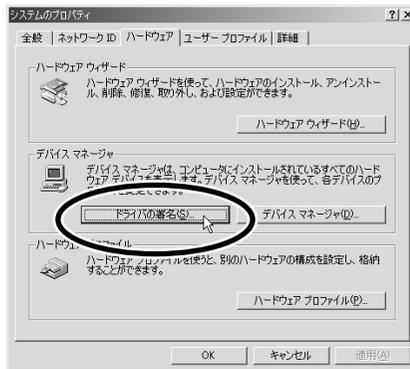
システムのプロパティ・ダイアログを開きます。

Windows のスタート・メニューから**設定 | コントロールパネル**を選びます。コントロールパネルにある**システム・アイコン**をダブルクリックしてください。

4

ハードウェア・タブをクリックし、続けて**[ドライバの署名]**をクリックします。

ドライバ署名オプション・ダイアログが開きます。



5

「ファイルの署名の確認」が「無視」に設定されているかを確認します。

「無視」に設定されているときは、そのまま **[OK]** をクリックしてください。「無視」に設定されていないときは、現在の設定 (「警告」または「ブロック」) をメモした後、「無視」に変更して **[OK]** をクリックします。

6

システムのプロパティ・ダイアログを閉じます。

**[OK]** をクリックしてください。

7

起動中のソフトウェア (アプリケーション) をすべて終了します。

開いているウィンドウもすべて閉じてください。ウイルス・チェッカーなどのソフトウェアをお使いのときは、それらも必ず終了してください。

8

CD-ROM を準備します。

CD-ROM を、コンピューターの CD-ROM ドライブに入れてください。



「ファイルの署名の確認」を変更した時は、ドライバをインストールした後、変更前の設定に戻します。(→『「ファイル署名の確認」を変更しているとき』(P.8) )

9

Windows のスタート・メニューから**ファイル名を指定して実行**を選びます。  
**ファイル名を指定して実行**ダイアログが開きます。

10

表示されたダイアログの**名前欄**に  
 次のように入力して、**[OK]** をク  
 リックします。



(ドライブ名) ¥DRIVER¥XP2K¥SETUPINF.EXE

※ ここでは、ドライブ名は「D:」として説明しています。ドライブ名「D:」は、  
 お使いの環境によって異なる場合があります。CD-ROM ドライブのドライ  
 ブ名にあわせてください。

11

**SetupInf** ダイアログが開きます。

ドライバをインストールする準備ができました。

12

DR-880 とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

※ あらかじめ DR-880 の USB モードを“MIDI”に設定し、DR-880 の電源を  
 オフにしておきます。

1. 電源スイッチがオフの状態の DR-880 と AC アダプターを接続します。
2. AC アダプターを電源コンセントに差し込みます。
3. DR-880 とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

13

DR-880 の電源スイッチをオンにします。

「ファイルの署名の確認」の設定が「無視」になっていないと、「デジタル署名  
 が見つかりませんでした」というダイアログが開きます。

「ファイルの署名の確認」が「警告」の場合

1. [はい] をクリックします。
2. インストールを続けます。

「ファイルの署名の確認」が「ブロック」の場合

1. [OK] をクリックします。
2. 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が開いたら、[完了] をクリックします。
3. 手順 1 (P.6) に戻り、最初からドライバをインストールし直します。

メモ

**ドライブ名の確認方法**  
 デスクトップにある**マイ  
 コンピュータ**のアイコン  
 をダブルクリックします。  
 表示されたウィンドウの中  
 から、手順 8 で CD-ROM  
 を入れた CD-ROM ドライ  
 ブのドライブ名を確認しま  
 す。CD-ROM ドライブ



に表示されている  
 (D:) や (E:) がドライブ  
 名を表しています。

メモ

USB モードの設定方法に  
 ついては、「DR-880 取扱  
 説明書」をご覧ください。



正しく接続したら、必ずこ  
 の手順で電源を投入してく  
 ださい。手順を間違えら  
 ず、誤動作をしたりスピー  
 ーカーなどが破損する恐れが  
 あります。

メモ

DR-880 は回路保護のた  
 め、電源をオンしてからし  
 ばらくは動作しません。

**14** ディスクの挿入ダイアログが開きます。  
[OK] をクリックしてください。

**15** ファイルが必要ダイアログが開きます。  
コピー元欄に次のように入力して、[OK] をクリックします。  
D:¥DRIVER¥XP2K

※ ドライブ名「D:」は、お使いの環境によって異なる場合があります。CD-ROMのドライブ名にあわせてください。

**16** 新しいハードウェアの検出ウィザードが表示される場合があります。  
「BOSS DR-880」と表示されていることを確認し、[完了] をクリックします。

**17** 「システム設定の変更」ダイアログが開く場合があります。  
[はい] をクリックしてください。Windows が自動的に再起動します。  
「システム設定の変更」ダイアログが表示されない場合は、Windows を再起動させてください。



**ご注意!**  
ディスクの挿入ダイアログが表示されないときは、『「ディスクの挿入」ダイアログが表示されない』(P.22) をお読みください。

### 「ファイル署名の確認」を変更しているとき

「ファイルの署名の確認」を変更しているときは、Windows が再起動したら変更前の設定に戻します。

1. Windowsが再起動したらドライバのインストールを行ったときのユーザーでWindowsにログインします。
2. Windowsのデスクトップで、マイコンピュータ・アイコンを右クリックし、表示されるメニューからプロパティを選びます。システムのプロパティ・ダイアログが開きます。
3. ハードウェア・タブをクリックし、続けて[ドライバの署名]をクリックします。ドライバ署名オプション・ダイアログが開きます。
4. 「ファイルの署名の確認」を変更前の設定（「警告」または「ブロック」）に戻し、[OK] をクリックします。
5. [OK] をクリックします。システムのプロパティ・ダイアログが閉じます。

続いて、ドライバの設定を行います。  
(→『ドライバの設定』(P.11))

## ■ Windows Me / 98 をお使いのとき

**1** DR-880 を接続していない状態で Windows を起動します。  
USB キーボードと USB マウス以外のすべての USB ケーブルをはずした状態にしておいてください。  
ウィルス・チェッカーなどのソフトウェアをお使いのときは、それらも必ず終了してください。

**2** 起動中のソフトウェア（アプリケーション）をすべて終了します。  
開いているウィンドウもすべて閉じてください。ウィルス・チェッカーなどのソフトウェアをお使いのときは、それらも必ず終了してください。

**3** CD-ROM を準備します。  
CD-ROM を、コンピューターの CD-ROM ドライブに入れてください。

**4** Windows のスタート・メニューからファイル名を指定して実行を選びます。  
ファイル名を指定して実行ダイアログが開きます。

**5** 表示されたダイアログの名前欄に次のように入力して、[OK] をクリックします。



(ドライブ名) ¥DRIVER¥ME98¥SETUPINF.EXE

※ ここでは、ドライブ名は「D:」として説明しています。ドライブ名「D:」は、お使いの環境によって異なる場合があります。CD-ROM ドライブのドライブ名にあわせてください。

**6** SetupInf ダイアログが開きます。  
ドライバをインストールする準備ができました。

**7** DR-880 とコンピューターを USB ケーブルで接続します。  
※ あらかじめ DR-880 の USB モードを“MIDI”に設定し、DR-880 の電源をオフしておきます。

1. 電源スイッチがオフの状態の DR-880 と AC アダプターを接続します。
2. AC アダプターを電源コンセントに差し込みます。
3. DR-880 とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

### ご注意!

すでに DR-880 をコンピューターに接続し、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されている場合は、CD-ROM の DRIVER¥ME98 フォルダにある Readme\_j.htm の「トラブルシューティング」の「以上の手順に沿ってインストールを試みたが、インストールできない。」をご覧ください。

### メモ

ドライブ名の確認方法  
デスクトップにあるマイコンピュータのアイコンをダブルクリックします。表示されたウィンドウの中から、手順 3 で CD-ROM を入れた CD-ROM ドライブのドライブ名を確認します。CD-ROM ドライブ



に表示されている (D:) や (E:) がドライブ名を表しています。

### メモ

USB モードの設定方法については、「DR-880 取扱説明書」をご覧ください。

### ご注意!

正しく接続したら、必ずこの手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。

**8** DR-880の電源スイッチをオンにします。

**9** ドライバが自動的にインストールされます。

**10** SetupInf ダイアログの [OK] をクリックします。

※ Windows の再起動を促すメッセージが表示された場合は、そのメッセージの内容にしたがって Windows を再起動してください。

続いて、ドライバの設定を行います。  
(→ 『ドライバの設定』 (P.11))



DR-880は回路保護のため、電源をオンしてからしばらくは動作しません。

# ドライバの設定

## ■MIDIの入出力先を決める

### Windows XP/2000/Me をお使いのとき

**1** コントロールパネルを開きます。

Windows のスタート・メニューから設定 | コントロールパネルを選びます。  
Windows XP では、スタート・メニューからコントロールパネルを選びます。

**2** サウンドとオーディオデバイスのプロパティ・ダイアログを開きます。  
(Windows 2000/Me では、サウンドとマルチメディアのプロパティ・ダイアログ)

#### Windows XP

「作業する分野を選びます」からサウンド、音声、およびオーディオデバイスをクリックします。次に、「コントロールパネルを選んで実行します」から、サウンドとオーディオデバイス・アイコンをクリックします。

#### Windows 2000/Me

コントロールパネルにあるサウンドとマルチメディア・アイコンをダブルクリックします。

**3** オーディオ・タブをクリックします。

**4** MIDI 音楽の再生の [既定のデバイス] (Windows 2000/Meでは、[優先するデバイス]) 欄の▼をクリックし、表示されるリストから **BOSS DR-880** を選びます。



**5** サウンドとオーディオデバイスのプロパティ・ダイアログを閉じます。  
[OK] をクリックしてください。

#### メモ

お使いの状態によっては、サウンドとオーディオデバイス・アイコンが直接コントロールパネルに表示されていることがあります (クラシック表示)。そのときはサウンドとオーディオデバイス・アイコンをダブルクリックします。

#### メモ

サウンドとマルチメディア・アイコンが表示されない場合は、すべてのコントロールパネルのオプションを表示するをクリックします。

#### メモ

お使いの環境に合わせて、MIDI デバイスをお選びください。必ずしも、**BOSS DR-880** を選ぶ必要はありません。

- 6 お使いのシーケンス・ソフトウェアから、MIDI デバイスの設定を行います。  
MIDI OUT/IN デバイスには **BOSS DR-880** を選びます。

以上で、MIDI の入出力先の設定が終わりました



MIDI デバイスの設定方法について詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

## Windows 98 をお使いのとき

- 1 コントロールパネルを開きます。  
Windows のスタート・メニューから **設定 | コントロールパネル** を選びます。
- 2 マルチメディアのプロパティ・ダイアログを開きます。  
コントロールパネルにある **マルチメディア** アイコンをダブルクリックします。
- 3 MIDI タブをクリックします。

- 4 MIDI 出力を指定します。  
[単一の機器] にチェック・マークをつけ、表示されているリストから **BOSS DR-880** を選びます。



- 5 マルチメディアのプロパティ・ダイアログを閉じます。  
[OK] をクリックしてください。

- 6 お使いのシーケンス・ソフトウェアから、MIDI デバイスの設定を行います。  
MIDI OUT/IN デバイスには **BOSS DR-880** を選びます。

以上で、MIDI の入出力先の設定が終わりました



お使いの環境に合わせて、MIDI デバイスをお選びください。  
必ずしも、**BOSS DR-880** を選ぶ必要はありません。



MIDI デバイスの設定方法について詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

# 接続とドライバのインストール (Macintosh)

お使いの環境によって、インストールおよび設定の手順が異なります。  
以下の中からご自分にあった項目へお進みください。

- Mac OS 9 をお使いのとき..... (P.13)
- Mac OS X をお使いのとき..... (P.19)

## Mac OS 9 をお使いのとき

### ■ ドライバのインストール

MIDI ドライバとして、OMS または FreeMIDI が必要です。

CD-ROM に収録されている **DR-880** ドライバは、OMS や FreeMIDI で DR-880 を使用するための追加モジュールになっています。

- ※ お使いのシーケンス・ソフトにあわせて、**OMS** か **FreeMIDI** のどちらかを Macintosh の起動ディスクにあらかじめインストールしておく必要があります。
- ※ ドライバをインストールする前に、DR-880 本体を Macintosh から外してください。



OMS は CD-ROM の **OMS** フォルダの **OMS 2.3.3J** の中にあります。  
OMS について詳しく知りたい場合は、同じフォルダにある **OMS\_2.0J\_Mac.pdf** を参照してください。

ドライバをインストールする前に、DR-880 が Macintosh に接続されていると、Macintosh 起動後に以下のようなメッセージが表示されます。表示されるメッセージの内容に応じて以下の手順を実行してください。

「USB 装置 (デバイス) “名称未設定装置” に必要なドライバが使用できません。インターネット経由でドライバを探しますか？」

と表示された場合：→ [キャンセル] をクリックします。

「装置 “不明装置” を使用するのに必要なソフトウェアが見つかりません。装置に付属のマニュアルを参照して、必要なソフトウェアをインストールしてください。」

と表示された場合：→ [OK] をクリックします。

DR-880 ドライバを以下の手順に従ってインストールしてください。

1

起動中のソフトウェア (アプリケーション) をすべて終了します。

ウィルス・チェッカーなどのソフトウェアをお使いのときは、それらも必ず終了してください。

2

CD-ROM を準備します。

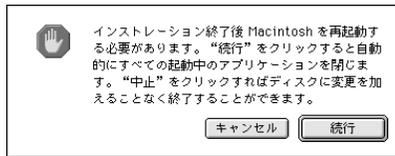
CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れてください。

**3** CD-ROMの**Driver J (Mac OS 9)** フォルダ内の**DR-880 Driver-J Installer**アイコンをダブルクリックします。

**4** インストールする場所を確認して、**[インストール]** をクリックします。

**5** 次のようなメッセージが表示される場合は、**[続行]** をクリックします。

他の起動中のアプリケーションが終了して、インストールが続行されます。



**6** 「インストールが完了しました」というダイアログが表示されます。**[再起動]** をクリックして Macintosh を再起動します。

## ■ ドライバの設定

FreeMIDI をお使いの場合は、『**FreeMIDI の設定**』(P.17) へお進みください。

### OMS の設定

**1** DR-880 とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

※ あらかじめ DR-880 の USB モードを “MIDI” に設定し、DR-880 の電源をオフしておきます。

1. 電源スイッチがオフの状態の DR-880 と AC アダプターを接続します。
2. AC アダプターを電源コンセントに差し込みます。
3. DR-880 とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

**2** DR-880 の電源スイッチをオンにします。

**3** CD-ROMの **Driver J (Mac OS 9) - OMS Setting** フォルダを Macintosh のハードディスク (起動ディスク) の **Opcode - OMS アプリケーション** フォルダにドラッグし、コピーします。



**4** OMS がインストールされている場所 (ハード・ディスク) にある **Opcode - OMS アプリケーション** フォルダの中の **OMS Setup** をダブルクリックして起動します。



**ご注意!**  
インストールする場所の表示は、お使いの環境によって異なります。現在使用しているシステムの起動ディスクが選択されていることを確認してください。



**メモ**  
USB モードの設定方法については、「DR-880 取扱説明書」をご覧ください。



**ご注意!**  
正しく接続したら、必ず次の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。



**メモ**  
DR-880 は回路保護のため、電源をオンしてからしばらくは動作しません。

5

このようなダイアログが表示される場合は、**[オフにする]** をクリックします。続いて、確認のダイアログが表示されますが、そのまま **[OK]** をクリックします。

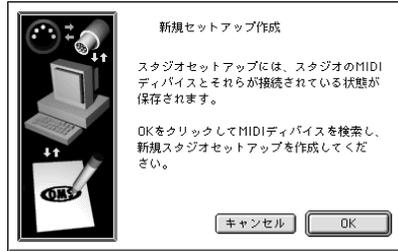


アップル・メニューのセレクトで、AppleTalk を使用しないことをお勧めします。

6

新規セットアップ作成ダイアログが表示される場合は、**[キャンセル]** をクリックします。

**[OK]** をクリックしてしまった場合には、次の画面で **[キャンセル]** をクリックしてください。

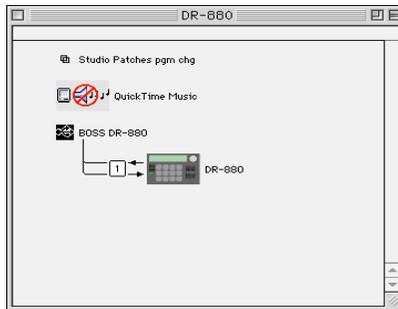


7

ファイル・メニューから**開く**を選びます。

手順 3 でコピーした **OMS Setting** フォルダの中の **DR-880** ファイルを選択して **[開く]** をクリックします。

このような画面が表示されます。



8

編集メニューから **OMS MIDI セットアップ** を選びます。

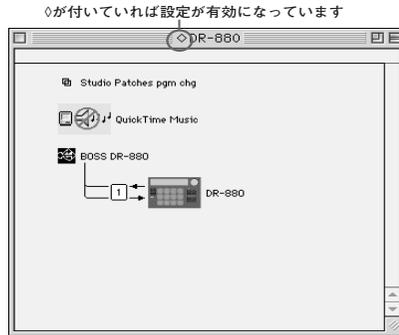
表示された **OMS MIDI Setup** ダイアログのバックグラウンドで **MIDI 使用** をチェックして、**[OK]** をクリックします。



9

ファイル・メニューから**セットアップを有効にする**を選択します。

セットアップを有効にするが選択できない場合は、すでに有効になっていますので、そのままかまいません。



10

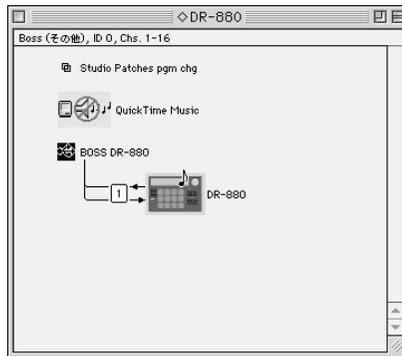
MIDI の送受信が正常に行われていることを確認します。

スタジオ・メニューから**テスト**を選択します。

11

マウス・カーソルを DR-880 のアイコンに近付けると、カーソルが  の形に変わります。

右図の DR-880 のアイコン上でクリックしてください。DR-880 から音が鳴れば、正しく設定ができています。



12

OMS Setup を終了します。

ファイル・メニューから**終了**を選択します。AppleTalk の確認ダイアログが表示された場合は **[OK]** をクリックしてダイアログを閉じます。

13

お使いのシーケンス・ソフトウェアから、MIDI デバイスの設定を行います。MIDI OUT/IN デバイスには **BOSS DR-880** を選びます。



MIDI デバイスの設定方法について詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

以上で、Macintosh の接続、MIDI ドライバのインストールおよび設定は完了です。

## FreeMIDI の設定

1

DR-880 とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

※ あらかじめ DR-880 の USB モードを “MIDI” に設定し、DR-880 の電源をオフにしておきます。

1. 電源スイッチがオフの状態の DR-880 と AC アダプターを接続します。
2. AC アダプターを電源コンセントに差し込みます。
3. DR-880 とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

2

DR-880 の電源スイッチをオンにします。

3

CD-ROM の Driver J (Mac OS 9) — FreeMIDI Setting フォルダを Macintosh のハードディスク (起動ディスク) の FreeMIDI Applications フォルダにドラッグし、コピーします。

4

FreeMIDI がインストールされている場所 (ハードディスク) の FreeMIDI Applications フォルダの中の FreeMIDI Setup アイコンをダブルクリックして起動します。

5

初回起動時には、以下のことを行ってください。

1. “Welcome to FreeMIDI!” と書かれたダイアログが開きます。  
[Continue] をクリックします。
2. FreeMIDI Preferences ダイアログが開きます。  
[Cancel] をクリックします。
3. About Quick Setup ダイアログが開きます。  
[Cancel] をクリックします。



USB モードの設定方法については、「DR-880 取扱説明書」をご覧ください。



正しく接続したら、必ず次の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。



DR-880 は回路保護のため電源をオンしてからしばらくは動作しません。



“OMS is installed on this computer...” というダイアログが開いたら、[FreeMIDI] をクリックします。

**6** File メニューから **Open** を選びます。

**7** 手順 3 でコピーした **FreeMIDI Setting** フォルダ内の **DR-880** を選択して、**[開く]** をクリックします。

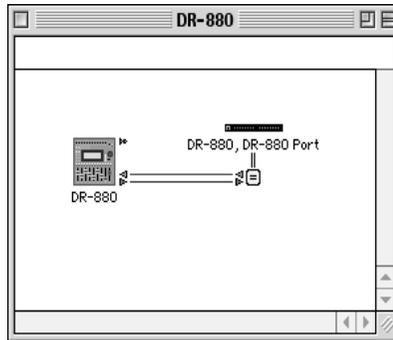
**8** MIDI メニューから **Audition Channels...** を選択します。

**DR-880** ダイアログが開いたら **Use all channels** を選択し、**[OK]** を押してダイアログを閉じます。

**9** MIDI の送受信が正常に行われていることを確認します。

MIDI メニューから **Check Connections** を選択します。

**10** 右図の **DR-880** のアイコン上でクリックしてください。  
**DR-880** から音が鳴れば、正しく設定ができています。



**11** 再度、MIDIメニューの**Check Connections**を選択し、チェックを終了します。

**12** File メニューから **Quit** を選択し、**FreeMIDI Setup** を終了します。

**13** お使いのシーケンス・ソフトウェアから、MIDI デバイスの設定を行います。  
MIDI OUT/IN デバイスには **BOSS DR-880** を選びます。

以上で、Macintosh の接続、MIDI ドライバのインストールおよび設定は完了です。

### メモ

**Open** が選べない場合は、以下のことを行った後、もう一度、手順 4. から設定を行ってください。

1. File メニューから **FreeMIDI Preferences** を選びます。
2. **Use OMS when available** のチェックをはずします。
3. FreeMIDI を終了します。

### メモ

MIDI デバイスの設定方法について詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

# Mac OS X をお使いのとき

## ■ドライバのインストール

- 1 キーボード、マウスを除くすべての USB ケーブルをはずした状態で Macintosh を起動します。
- 2 CD-ROM を準備します。  
CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。
- 3 CD-ROM の **Driver (Mac OS X)** フォルダにある **DR-880USBDriver.pkg** をダブルクリックします。
- 4 認証ダイアログでパスワードを入力し、**[OK]** をクリックします。
- 5 「ようこそ **BOSS DR-880 USB Driver** インストールへ」と表示されます。  
**[続ける]** をクリックします。
- 6 「**大切な情報**」と表示された場合は、内容を確認して **[続ける]** をクリックします。
- 7 「**インストール先を選択**」と表示されます。  
システムがインストールされているドライブをクリックして選択し、**[続ける]** をクリックします。
- 8 「**簡易インストール**」と表示されます。  
インストールまたはアップグレードをクリックします。
- 9 「このソフトウェアをインストールすると、インストールが終了したときにコンピューターの再起動が必要になります。～」と表示されます。  
**[インストールを続ける]** をクリックします。
- 10 「ソフトウェアが正常にインストールされました」と表示されます。  
**[再起動]** をクリックしてコンピューターを再起動します。

これで DR-880 ドライバのインストールは終了しました。



インストールの途中で認証ダイアログが表示されたら、パスワードを入力し **[OK]** をクリックしてください。

## お使いになるためのご注意

シーケンス・ソフトウェアなどをお使いになる前に、以下の内容を確認してください。

- シーケンス・ソフトウェアなどを起動する前に、DR-880 とコンピューターを USB ケーブルで接続してください。
- シーケンス・ソフトウェアなどの起動中に DR-880 から USB ケーブルを抜かないでください。
- シーケンス・ソフトウェアなどを終了してから、DR-880 から USB ケーブルを抜いてください。
- Macintosh のスリープ設定は、OFF にしてご利用ください。
- Mac OS X のクラシック (Classic) 環境では動作いたしません。クラシック環境を起動していない状態でお使いください。

## ■ ドライバの設定

### 1

DR-880 とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

※ あらかじめ DR-880 の USB モードを “MIDI” に設定し、DR-880 の電源をオフにしておきます。

1. 電源スイッチがオフの状態の DR-880 と AC アダプターを接続します。
2. AC アダプターを電源コンセントに差し込みます。
3. DR-880 とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

### 2

DR-880 の電源スイッチをオンにします。

### 3

お使いのシーケンス・ソフトウェアから、MIDI デバイスの設定を行います。

MIDI OUT/IN デバイスには、**BOSS DR-880** を選びます。

これで、ドライバの設定が終わりました。

**メモ**

USB モードの設定方法については、「DR-880 取扱説明書」をご覧ください。

**ご注意!**

正しく接続したら、必ずこの手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。

**メモ**

DR-880 は回路保護のため、電源をオンしてからしばらくは動作しません。

**メモ**

MIDI デバイスの設定方法について詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

# トラブルシューティング



Windows および Macintosh に共通の問題



Windows のみで起こる問題



Macintosh のみで起こる問題



## ドライバが正しくインストールできない

- **CD-ROM は、正しく CD-ROM ドライブに入っていますか？**  
DR-880 に付属の CD-ROM が、CD-ROM ドライブに入っていないと、インストールができません。CD-ROM が正しくドライブに入っていることを確認してください。
- **CD-ROM や CD-ROM ドライブのレンズが汚れていませんか？**  
CD-ROM や CD-ROM ドライブのレンズが汚れていると、インストーラーが正常に動作しないことがあります。市販の CD 専用クリーナーやレンズクリーナーでクリーニングしてください。
- **ネットワークの CD-ROM ドライブからインストールしていますか？**  
ネットワークの CD-ROM ドライブからはインストールできません。
- **ハード・ディスクに十分な空き容量がありますか？**  
不要なファイルを削除して空き容量を増やしてください。ファイルを削除した後、ごみ箱を空にしてください。
- **DR-880 は正しく接続されていますか？**  
コンピューターの USB 端子と DR-880 が、USB ケーブルで接続されているかを確認してください。
- **DR-880 の電源はオンになっていますか？**



- 再度『**接続とドライバのインストール (Windows)**』(P.2) を参照して DR-880 ドライバをインストールしてください。また、デバイス マネージャーに「**その他のデバイス**」もしくは「**ユニバーサル・シリアル・バス・コントローラー**」に「**不明なデバイス**」があるかどうかも確認してください。もし、見つかった場合は削除してください。



- **OMS または FreeMIDI はインストールされていますか？**  
Mac OS 9 では **OMS** または **FreeMIDI** がインストールされていないと、DR-880 ドライバをインストールすることができません。**OMS** または **FreeMIDI** をインストールしてください。  
(OMS → P.14、FreeMIDI → P.17)



## OMS、FreeMIDI の設定時に DR-880 が検出されない

- DR-880 は認識されていますか？

DR-880 の電源を入れなおしてください。

USB ケーブルを接続しなおしてください。

他の USB 機器を接続している場合は、DR-880 のみを接続してください。

Macintosh で DR-880 の認識や初期化が正常に行われていない可能性があります。DR-880 の USB ケーブルを接続したまま Macintosh を再起動してください。それでも認識されない場合は、Macintosh を終了します。その後、Macintosh を起動しなおしてください。

Macintosh のキーボードにある USB コネクタに接続すると、DR-880 は認識されません。Macintosh 本体の USB コネクタに接続してください。



## 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が自動的に行われない



## 「ディスクの挿入」ダイアログが表示されない



## 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が途中で終わってしまう

- USB ケーブルを接続してから、DR-880 を認識するまでに 15 秒程度（あるいはそれ以上）かかる場合があります。

- USB ケーブルが正しく接続されていますか？

DR-880 とコンピューターが USB ケーブルで正しく接続されているかを確認してください。

- コンピューターで USB が使用可能になっていますか？

お使いのコンピューターの取扱説明書を参照し、USB が使用可能になっているかを確認してください。

- お使いのコンピューターが USB 規格を満たしていますか？

電氣的に USB 規格を満たしていないコンピューターをご使用の場合は、動作が不安定になることがあります。その場合は USB ハブを接続することによって問題が解決することがあります。

以上の対処を行っても問題が解決しない場合は、DR-880 がコンピューターに誤って認識されている可能性があります。改めてドライバを最初からインストールしてしてください。（→『接続とドライバのインストール（Windows）』（P.2））



## ドライバをインストールしたのに「不明なデバイスの検索」ダイアログが表示される

- お使いのコンピューターや USB HUB に 2 つ以上の USB 端子が装備されている場合、DR-880 を接続したことがない USB 端子へ DR-880 を接続すると、すでにドライバがインストールされているコンピューターでも「不明なデバイス」のダイアログが表示される場合があります。

『接続とドライバのインストール（Windows）』（P.2）に従って再度ドライバをインストールしてください。この動作は異常ではありません。

前回と同じ USB コネクタに接続しているのに、「不明なデバイスの検索」ダイアログが表示され続ける場合は、DR-880 がコンピューターに誤って認識されている可能性があります。

改めてドライバを最初からインストールしてしてください。（→『接続とドライバのインストール（Windows）』（P.2））

 「不明なデバイスが見つかりました」というダイアログが開いて、ドライバをインストールすることができない

 デバイスマネージャーに「？」や「！」、「USB Composite Device」が表示されている

 ドライバが正しくインストールされていない

DR-880 がコンピューターに誤って認識されている可能性があります。  
改めてドライバを最初からインストールしてしてください。(→『接続とドライバのインストール (Windows)』(P.2))

 Windows XP/2000 で専用ドライバをインストール／使用できない

- Windows へは、管理者権限を持つユーザーがログオンしていますか？

Windows XP/2000 で専用ドライバをインストール／再インストールするためには、Administrators などの管理者権限を持つユーザーが Windows にログオンしなくてはなりません。詳しくは、お使いのコンピューターのシステム管理者にご相談ください。

- 「ドライバ署名のオプション」の設定を行いましたか？

ドライバをインストールする／再インストールするためには、「ドライバ署名オプション」の設定を行う必要があります。(→ Windows XP (P.2)、Windows 2000 (P.6))

 Windows XP/2000 で「ハードウェアのインストール」、「デジタル署名が見つかりませんでした」ダイアログが表示される

- 「ドライバ署名オプション」の設定を行いましたか？

ドライバをインストールする／再インストールするには、「ドライバ署名オプション」の設定を行う必要があります。(→ Windows XP (P.2)、Windows 2000 (P.6))